

国立大学法人

徳島大学 概要

2021

2021

Tokushima University will search for truth, create knowledge, and inherit and develop eminent sciences and cultures with a spirit of independence and autonomy. We will contribute as a global university to establish a robust and abundantly prosperous society.

学長からのメッセージ、基礎データ	1
徳島大学の理念と目標、沿革	2
徳島大学の教育・研究・教員組織	3
機構等及び戦略室	4
教育組織 学部、大学院、教養教育院	5
研究組織 研究クラスター、先端酵素学研究所、ポストLEDフォトンクス研究所、環境防災研究センター	8
教員組織	10
病院、産業院	11
テクニオン連携室、寄附講座	12
社会貢献組織、支援組織	13
国際交流、学年暦	15
位置図・交通	16
建物配置図	17

(常三島地区)



(蔵本地区)



世界の課題を解決し、豊かな徳島大学へ



徳島大学長 野地 澄晴

徳島大学は、地域から世界の課題(SDGs)を解決する大学としてさらに飛躍するために、教育・研究・社会貢献を一層強化しています。徳島大学の全体像を簡単に紹介します。学部は、総合科学部、医学部、歯学部、薬学部、理工学部、生物資源産業学部の6学部により構成されています。常三島地区においては、生物資源産業学部1期生の大学院修士課程の2022年度修了に合わせて、創成科学研究科博士課程を新設する予定で準備を進めています。また、蔵本地区においては、現在の徳島大学大学院の医科学教育部、口腔科学教育部、薬科学教育部、栄養生命科学教育部、保健科学教育部の名称を教育部から研究科に変更予定で、こちらも準備を進めています。また、教員組織としては、大学院社会産業理工学研究部と大学院医歯薬学研究部があります。さらに、世界最先端の医科学系の研究を行っている先端酵素学研究所、光で世界を救うイノベーションを起こす研究を実施するポストLEDフォトリソグラフィ研究所(pLED)、生命科学系の研究を推進するバイオイノベーション研究所(BIRC)、最先端の医療をリードする大学病院、組織対組織の産学連携とスタートアップを組織的に産み出す大学産業界があります。理系に強みを持つ大学ですが、文系には総合科学部があります。この構成が徳島大学の特徴であり、これまでに多くの優秀な人材を育成してきました。

徳島大学では、全学一体となって教育・研究に取り組むために、研究クラスターや教育クラスターと名付けた協働体制を構築しています。また、地域の皆様との連携強化のために、人と地域共創センターを設置し、企業などとの連携のために、研究支援・産官学連携センターや大学産業界を設置しています。さらに、新たな外部資金を獲得するために、「クラウドファンディング：OTSUCLE（おつくる）」や大学発スタートアップへの投資組合を運営する株式会社産学連携キャピタル(AIAC)などにより、起業に繋がる研究などへの支援も行われています。これらは他大学等との連携も可能です。地域から世界を救う産業を創生できることは、大学院工学研究科修士課程を修了し、2014年のノーベル物理学賞受賞者となった中村修二教授（カリフォルニア大学サンタバーバラ校(UCSB) 材料物性工学科）や日亜化学工業株式会社により実証されています。この伝統を引き継いでいけるよう設置したpLEDは、徳島県と協働し、内閣府の事業である「地方大学・地域産業創生事業」の中心的な存在として、「光」をキーワードに新規産業の創生に向けて研究を行っています。さらに、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業である「共創の場形成支援プロジェクト」にも採択され、自治体・企業・大学などが共創して地方創生に資する取組を行っております。今後とも、徳島大学の取組をご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。

基礎データ

○学生数	7,467人(学部5,967人、大学院1,500人)
○教職員数	2,413人(役員10人、教授250人、准教授191人、講師121人、助教231人、 特任教授等158人、事務系・技術系・医療系職員1,452人)
○財政データ(2020年度決算額)	
収入	50,464百万円[主な内訳 運営費交付金12,242百万円、自己収入30,081百万円 (うち病院25,400百万円)]
支出	49,331百万円[主な内訳 教育研究経費15,853百万円、 診療経費:24,107百万円]

徳島大学の理念と目標

理念	国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。
目標	教育
	研究
	社会貢献

1. 学生が志をもって学び、感じ、考え、生涯にわたって学び続ける知と実践にわたる体系的な教育を行う。
 2. 自律して人類の諸問題の解決に立ち向かう、進取の気風を身につけた人材の育成を行う。
1. 自由な発想により真理を探究する研究を行う。
 2. 人類の問題を解決する研究を行う。
 3. 研究成果を社会に迅速に還元し、国際及び地域社会の平和な発展に貢献する。
1. 地域社会と世界を結ぶ知的なネットワークの拠点となり、平和で文化的な国際社会と活力ある地域社会を構築する。
 2. 産官学の組織と連携し、社会の発展基盤を支える拠点となり、大学の開放と社会人の学び直しを支援し、地域社会に新産業を創出することに貢献する。

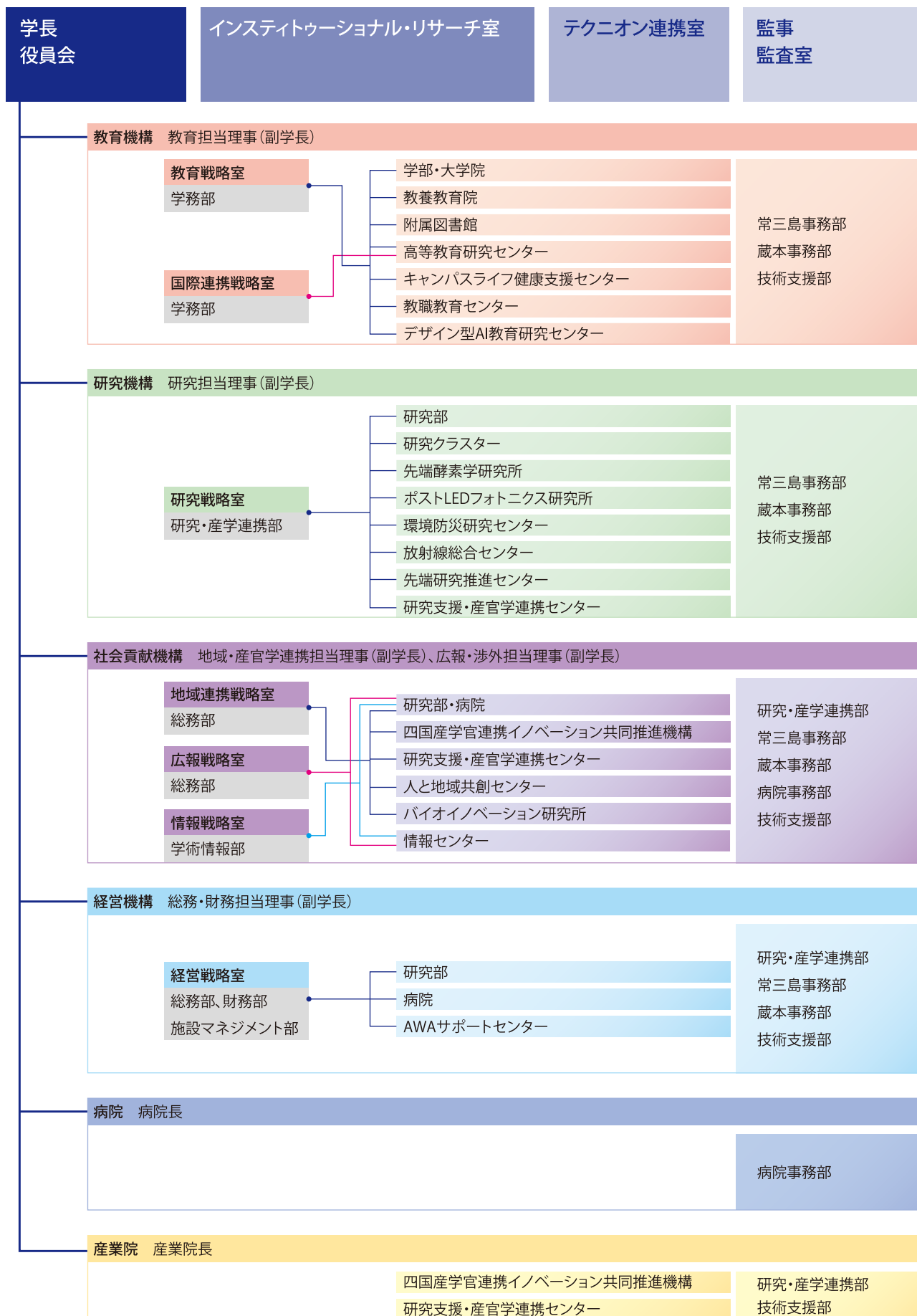
沿革

1949年	旧制の徳島師範学校、徳島青年師範学校、徳島医科大学、徳島医学専門学校、徳島高等学校及び徳島工業専門学校を包括した徳島大学の設置（学芸学部・医学部・工学部の3学部） 徳島医科大学附属病院を徳島大学医学部附属病院と改称
1951年	薬学部を設置
1955年	大学院医学研究科を設置（2004年 大学院医科学教育部に改組）
1964年	大学院工学研究科を設置（2006年 大学院先端技術科学教育部に改組）
1965年	大学院薬学研究科を設置（2004年 大学院薬科学教育部に改組）
1966年	学芸学部を教育学部と改称
1969年	大学院栄養学研究科を設置（2004年 大学院栄養生命科学教育部に改組）
1976年	歯学部を設置
1983年	大学院歯学研究科を設置（2004年 大学院口腔科学教育部に改組）
1986年	教育学部を改組し、総合科学部（総合科学科）を設置
1994年	大学院人間・自然環境研究科を設置（2009年 大学院総合科学教育部に改組）
2004年	国立大学法人法により国立大学法人徳島大学を設立 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部を設置（2015年 大学院医歯薬学研究部に改称）
2006年	大学院ソシオテクノサイエンス研究部を設置（2016年 大学院理工学研究部に改称） 大学院保健科学教育部を設置
2009年	大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部を設置（2016年 大学院総合科学研究部に改称）
2010年	徳島大学病院の設置（医学部・歯学部附属病院の転換）
2016年	工学部を理工学部に改組 生物資源産業学部を設置 大学院生物資源産業学研究部を設置 教養教育院を設置 疾患酵素学研究センター及び疾患プロテオゲノム研究センターを改組し、先端酵素学研究所を設置
2017年	大学院総合科学研究部、大学院理工学研究部及び大学院生物産業資源学研究部を改組し、大学院社会産業理工学研究部を設置
2018年	産業院を設置
2019年	ポストLEDフォトリソグラフィ研究所を設置
2020年	大学院総合科学教育部と大学院先端技術科学教育部を改組し、大学院創成科学研究科を設置 バイオイノベーション研究所を設置



※徳島大学は、教育組織・研究組織と教員組織を分離しています。

機構等及び戦略室



学部

総合科学部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ias/>



医学部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/med/>



歯学部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/dent/>



薬学部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ph/>



理工学部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/st/>



生物資源産業学部

URL: <https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/>



大学院

創成科学研究科

URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/department/graduate_school/science.html



総合科学教育部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ias/>



医科学教育部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/med/>



口腔科学教育部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/dent/>



薬科学教育部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ph/>



栄養生命科学教育部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/med/>



保健科学教育部

URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/med/health_science/



先端技術科学教育部

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/e/>



教養教育院

URL: <https://las.tokushima-u.com/>



総合科学部



グローバルな視野を身に付け、地域の課題解決に挑む

総合科学部社会総合科学科は「国際教養」「心身健康」「公共政策」「地域創生」の4コースで構成されています。グローバル化が進む現代社会は様々な課題を抱え、その解決に向けた社会的取組が強く求められています。総合科学部では人文、人間、社会、地域及び情報等の諸科学における専門知識や専門技能を身につけるとともに、専門分野の融合を図ることでグローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解し、問題解決に対応し得る実践的な人材の育成を目的とし、人類の福祉と文化の向上に貢献することを目指しています。

医学部



全人的医療の推進に必要な医学、栄養学、看護・保健学全ての領域を揃える

医療・栄養・福祉に係る教育・研究・診療を通じて社会に貢献できる人材育成を目的としており、(1)医学科は、基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え、生涯にわたり医療、教育、保健・福祉活動を通じて社会に貢献し、医学の発展に寄与することができる人材の育成を、(2)医科栄養学科は、「食律生命」の理念のもとに、医学を基盤とした医科栄養学を発展させるとともに、医科栄養学を通じて高度化する医療と健康の維持増進に資することができる人材の育成を、(3)保健学科は、人間性、科学性及び国際性を基盤に高度化・専門化する医療を支え、保健・医療・福祉において多様化するニーズに対応し、保健学の発展に寄与することができる人材の育成を、それぞれ目指しています。

歯学部



口腔と全身の健康を追求し、健康長寿に寄与する

口腔と全身の健康に係る教育、研究、診療を通じて、社会に貢献できる人材の育成を目的としており、(1)歯学科は、歯科領域にとどまらない広い知識と最新の治療技術を身につけるとともに、医療人として必要な倫理を備えた歯科医師の育成を、(2)口腔保健学科は、口腔保健及び福祉の専門的立場から健康長寿の推進に貢献し、専門分野の教育、研究及び臨床における指導的役割を担う人材の育成を、それぞれ目指しています。

薬学部



薬を通じて、世界をめざす

薬学部は、令和3年度の入学生からは創製薬科学科で培ってきた研究指向の教育内容を薬学科と発展的に融合した薬学科(一学科)に再編されました。薬学部では薬の専門家としての知的・技術的基盤形成に必要な教育と深く医療に関わる使命感と倫理観を持たせる教育を行い、薬学が関連する諸分野の連携を基盤に自らの活躍の場を積極的に開拓できる能力に溢れた人材「インタラクティブYAKUGAKUJIN」の育成を目指しています。

理工学部



工学のセンスをもった理学者、理学のセンスを持った工学者の養成

理工学部は、平成28年4月に総合科学部理系(総合理数学科及び社会創生学科環境共生コースの一部)と工学部(生物工学科を除く各学科及び工学基礎教育センター)が協力・融合して発足しました。本学部は自立した一人の人間として社会の中で力強く生きる力(知力、社会・対人関係力、自己制御力)及び社会や世界の諸問題に対する鋭敏な知覚力を有し、高い倫理観をもって自ら考え、行動し、複数の理学と工学専門分野の知識を組み合わせつつ、独自のアイデアにより新しいものを創り出して問題の解決に取り組み、その成果を社会に還元できる能力を修得させることを目的としています。

生物資源産業学部



ヘルス・フード・アグリとバイオの融合で創る未来

生物資源産業学は、生物の優れた機能とそれを支える構造を科学的に解明し、それらの成果を生物資源の生産・応用に活用し、新しい産業を創出するための総合的学問・技術体系です。

生物資源産業学部では、1次産業、食料、生命科学に関する幅広い知識と、生物資源の製品化、産業化に応用できる知識と技術を有し、国際的視野に立って、生物資源を活用した新たな産業の創出に貢献できる人材を育成します。

大学院

創成科学研究科



人文・社会・人間科学、理学、工学、生物資源学を融合した新たな教育体制・教育課程の構築により、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえつつ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人を養成することを目的としています。

総合科学教育部



大学院総合科学教育部は現代社会が抱える地域課題、社会問題、環境問題などの解決に向けて、文理融合を含む総合的かつ学際的な視点からアプローチする「地域創生総合科学」の具体化を図ることを目的としています。そのために文化環境・社会環境・自然環境を総合・融合・俯瞰する環境調和型の地域社会づくりに携わる人材、並びに、地域再生・地域創生の担い手となる教育研究者及び専門的実務者の養成を目指しています。

医科学教育部



学際的な医科学教育を通して、生命科学の発展と医学・医療の高度化に対応した生命倫理に関する十分な見識を持ち、科学技術に偏向することのない高度な研究能力と学識を備えるとともに、社会に視野を向け貢献することのできる人間性豊かな研究者及び臨床医を養成し、併せて個性的な研究を推進、結実させ、未来を創る活力を持った大学院として医学の進歩と国民の健康の増進に寄与することを目的としています。

口腔科学教育部



(1) 口腔保健学専攻は、口腔保健学を中心とした長寿福祉口腔保健学に関する豊かな専門的知識・技能及び科学的探求心を身につけた、次世代の歯科衛生士教育を担う教育・研究者又は健康長寿社会の実現に貢献する高度専門職業人、(2) 口腔科学専攻は、口腔科学を中心とした生命科学に関する学術の理論及び応用の教育研究を通して、幅広い科学的基盤を持ち、かつ、専門性に秀でた、教育・研究・臨床並びに歯科行政などの分野で指導的役割を担う人材の養成を、それぞれ目的としています。

薬科学教育部



(1) 創薬科学専攻は、創薬科学に関する体系的な教育及び研究指導を通して、広い視野及び国際的に通用する力量を持った創薬・製薬の研究を遂行できる人材の育成を、(2) 薬学専攻は、医療現場に直結した研究指導及び臨床薬剤師としてのリスクマネジメント等の実務実習を通して、最先端の薬物治療を支える研究実践能力を備えた高度な職能を有し、国民の健康増進に寄与する指導的薬剤師及び医療薬学研究者の育成を、それぞれ目的としています。

栄養生命科学教育部



医療機関や地域社会・産業分野で活躍する高度専門職業人、また教育研究機関で活躍する先端的な教育研究者の養成を目指し、基礎生命科学から多様な医療関連知識等を含む人間栄養学に関する幅広い教育を行うとともに、社会の要請に対応できる先導的研究を推進し、教育研究の成果を通じた人材育成及び社会貢献を行うことにより、栄養学の発展に寄与することを目的としています。

保健科学教育部



保健科学における実践的で、かつ実証的な教育や研究を通して、生命倫理やチーム医療を基盤とし、社会が必要としている多様なニーズに応えることのできる人間性豊かな高度医療専門職者、教育者、研究者の養成を目指すとともに、社会が求める要請に貢献することができる先導的な研究を推進し、健康増進と疾病予防および高度医療・回復支援・生活支援を理念とする保健科学の発展に貢献することを目的としています。

先端技術科学教育部



工学の基礎知識を基として、現代社会に生じている問題を幅広い視点で分析・解決する能力を備え、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を持ち、世界をリードする研究成果を発信し、豊かで健全な社会の創造に貢献できる人材を育成しています。また、地域社会の活力ある発展のために、社会人の再教育、地域企業との共同研究による技術開発を行い、平和な国際社会を構築するための国際交流を活性化しています。

教養教育院



本学に入学する学生にとって、教養教育は最初の学びの場となります。科学・技術・文化・経済・社会などを広く学ぶことで、高い倫理性と広い視野を持つ人格の形成を促し、人間を取り巻く自然や社会の環境を将来にわたって持続可能なものとするための学問的基盤を形成することを目的としています。

また、教養教育院に設置されている語学教育センターでは、語学マイレージ・プログラムを運営しています。学部教育において一貫した語学教育体制を構築し、学生の目標・目的にあった語学力、コミュニケーション力、自己主導型学修力を養うことにより、十分な語学運用能力を持つ人材を育成することを目的としています。

研究クラスター

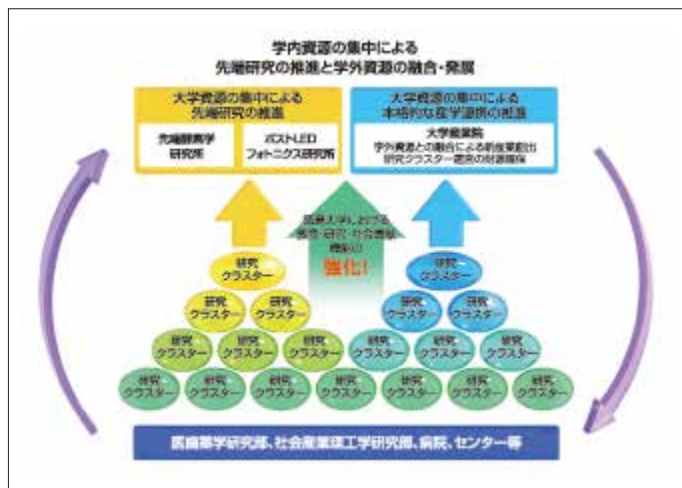
本学では、徳島大学改革プランを策定し、「徳島大学の理念、目的、目標と基本方針」のうち理念に基づいた目的MTP (massive transformative purpose)として、1) 人類の健康を守る画期的な医療・福祉を実現するために、成果を論文として発表し、さらに社会に還元するために、様々な医療技術、医療製品、医薬品などを開発すること、2) 人類の問題を解決し、研究成果を社会に迅速に還元し、国際及び地域社会の平和な発展に貢献すること、を掲げています。この実現に向けた研究を推進するためには、学部や研究分野を超えた横断的研究を行うなど、大学として新たなイノベーションを創出できる環境を作る必要があります。そこで、分野を超えた複数の研究者からなる研究集団(研究クラスター)を組織し、研究費を効果的に配分するとともに、本学の理念実現に貢献できる研究を選定・支援する体制を構築しました。

URL: <https://cluster.tokushima-u.ac.jp/>



研究クラスターの意義、目的

- (1) 研究成果の発信により、「徳島大学の強み(ブランドイメージ)」を明確化する
- (2) 研究を推進するための資金を確保し、大学全体の基盤強化に還元する
- (3) 大きな成果が期待できる研究クラスターを中心に、大学の研究組織を再編する



研究クラスター登録数

	●指定	●重点	●選定	●登録
2018年度	3	11	11	130
2019年度	3	11	8	148
2020年度	5	7	6	66

指定クラスター

●クラスター長	●研究課題名
音井 威重	ゲノム編集技術を活用した異種キメラブタの開発
山中 健二	災害対応型自動車の研究開発
親泊 政一	小胞体ストレス創薬研究
片桐 豊雅	統合的がん研究創薬クラスター～多段階発がん関連分子を標的とした中分子創薬の開発～
安友 康二	免疫難病の治療開発研究

重点クラスター

●クラスター長	●研究課題名
難波 康祐	有機合成化学を起点とするセンシング技術の開発と応用
三戸 太郎	食用コオロギの機能性検証と生産システムの社会実装
南川 丈夫	がんの統合的診断・治療を目指した分子から組織のマルチスケール・バイブレーショナル光学顕微鏡の創成
安倍 正博	リード薬の構造展開による新規阻害薬の創出とその物性・治療活性の最適化
三川 健	徳島大学宇宙食品産業・栄養学研究センターによる近未来型宇宙食糧ソリューション
立川 正憲	次世代型「脳閥門創薬」拠点形成: ヒト血液脳閥門物流システム解明に基づく脳閥門突破型抗体・核酸医薬の開発
安井 武史	Beyond5Gに向けたオール光型テラヘルツ無線通信技術の開発

選定クラスター

●クラスター長	●研究課題名
藤田 浩司	ジストニア・運動異常症における新規脳画像マーカーの開発
任 福継	次世代看護・介護用知的対話ロボットの開発
峯岸 克行	アトピー性疾患の新規治療ターゲットの解明
堀河 俊英	Beyond Graphene - 新規ナノ空間高精度制御ポーラスカーボンの創製と医理工連携による応用展開 -
八木下 史敏	セラノスティクスのための光線力学療法薬剤の開発
馬渡 一論	近紫外-深紫外発光ダイオード照射による病原ウイルス不活化の最適シミュレーション技術の開発と応用

先端酵素学研究所



先端酵素学研究所は、2016年に疾患酵素学研究センターと疾患プロテオゲノム研究センターを統合し、藤井節郎記念医科学センターと糖尿病臨床・研究開発センターを附属施設として設立されました。文部科学省から全国共同利用・共同研究拠点の認定を受けている研究施設です。我が国唯一の酵素学研究拠点としての先導的成果を基盤に病態解明と医療応用を目指す「基幹研究部門」、糖尿病・がん・免疫疾患等を“慢性炎症”という共通基盤病態で捉え、新たな学術領域の創出と牽引を目指す「重点研究部門」、個々の研究活動と拠点形成を強力にサポートする「技術開発支援部門」の3部門にて次世代を担う研究人材の育成と健康長寿社会の実現を目指し、最先端の医科学研究を展開しています。

URL: <http://www.iams.tokushima-u.ac.jp/>



藤井節郎記念医科学センター



藤井節郎記念医科学センターは、多くの治療薬を開発した故藤井節郎徳島大学教授を記念して設立されました。学際融合研究によりイノベーションに繋がれる優れた生命科学研究成果を挙げることをミッションとし、領域横断的なプロジェクト研究が展開できる学内外に開かれた研究施設です。

URL: <https://www.fujii.tokushima-u.ac.jp/>



糖尿病臨床・研究開発センター



糖尿病臨床・研究開発センターは、徳島県をはじめ国際的に重要な健康課題である糖尿病の克服をめざし、基礎医学と臨床医学を連携させた研究開発拠点です。

研究プラットフォームに基づき、先進的な研究を臨床へ、そして地域へ展開します。

URL: <http://www.iams.tokushima-u.ac.jp/dtrc>



ポストLEDフォトリクス研究所



ポストLEDフォトリクス研究所 (pLED) は、「新しい光の創出と応用」をキーワードに、本学が有するフォトリクス研究の強みを更に強化するため、2019年3月に設置されました。従来の可視・近赤外光を中心としたフォトリクスの活用を、短波長側は深紫外光、長波長側はテラヘルツ波まで拡張し、内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」の交付対象事業として採択された徳島県「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」の中核研究施設として、次世代光源の開発や光による新しい医療にアプローチする医光融合研究など、創造的超高齢社会の実現と地域産業振興に貢献する先進的研究を行います。

URL: <https://www.pled.tokushima-u.ac.jp/>



環境防災研究センター



地域の防災と自然環境保全に関する研究を推進するとともに、地域に密着した活動を通して地域貢献の責務を果たすことを目的としています。本センターは、環境と防災に関する総合的研究を行うために平成16年に設立され、平成22年からは学内共同教育研究施設となり、地域の防災対策と自然環境の保全との両立のために、工学、理学、人文・社会科学、医学・薬学など広範な学術分野の有機的連携と協働を進めています。

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/rcmode/>



大学院社会産業理工学研究部

人間・社会に関する諸科学及び自然科学を基盤として、社会的要請に対応した地域創生総合科学を中心とした学際的・総合的な研究、先端科学技術に関する研究及び生物資源の基礎・応用に関する研究の推進により新しい産業や社会を創出し、人文社会科学及び自然科学並びに科学技術の発展に寄与することを目的としています。

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/tiss/>



大学院社会産業理工学研究部

社会総合科学域

国際教養系
人間科学系
公共政策系
地域情報系

理工学域

社会基盤デザイン系
機械科学系
応用化学系
電気電子系
知能情報系
光応用系
数理科学系
自然科学系

生物資源産業学域

応用生命系
食料科学系
生物生産系

大学院医歯薬学研究部

医学、歯学、薬学、栄養学及び保健学を共通の基盤とし、生命科学研究の推進、疾患の原因及び病態の解明、治療法並びに予防法の開発に努め、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/bms/>



大学院医歯薬学研究部

医学域

医科学部門
栄養科学部門

歯学域

口腔科学部門

薬学域

薬科学部門

保健学域

保健科学部門

特定研究部門
連携研究部門



病院は、現在内科20診療科、歯科4診療科、59中央診療施設等からなり、692の病床を備え、地域の特定機能病院として医学・歯学の両面から高度で先進的な医療を提供しています。また、「徳島大学病院」と「徳島県立中央病院」が隣接しているという地理的条件を最大限に活かし、ハード・ソフト両面にわたり、両病院の特徴と特性を伸ばす方向で、更なる「連携強化」や「効果的な機能分担」を進めることで、県全体の医療の質の向上を目的とする「総合メディカルゾーン」が完成しました。今後も、地域医療のキーワードである連携、機能分化を念頭に、高い倫理観を備えた医療人の育成、高度先進医療の開発と推進により、地域医療への貢献を果たす「地域に根ざし世界にはばたく徳島大学病院」を目指します。



2020年度診療科別入院及び外来患者数

URL : <https://www.tokushima-hosp.jp/about/9.html>



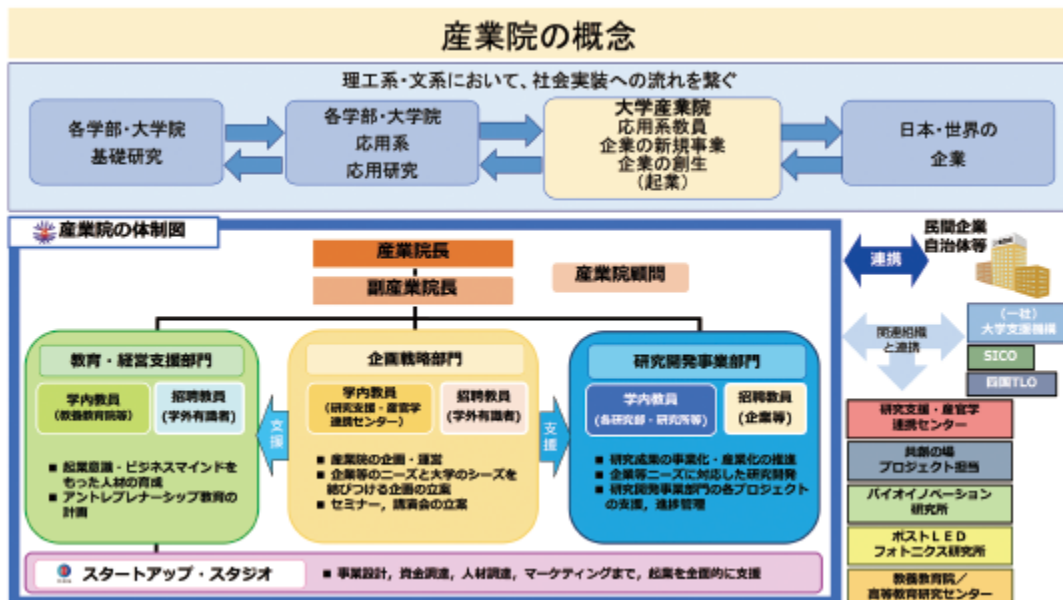
内科診療部門	入院患者数	201,549人
	外来患者数	350,101人
歯科診療部門	入院患者数	5,348人
	外来患者数	98,064人



産業院は、2018年4月に設置された大学の研究成果を社会実装することを目的とした学長直轄の組織で、大学病院をモデルに「世界の問題を解決するための教育・研究・産業を振興する組織」として、大学内で特区的に活動しています。

「研究開発事業部門」では、産業院コーディネーターが産学連携活動を推進する学内外の研究者を集中的に伴走支援して社会実装や大学発ベンチャー企業設立等を推進しています。また、「企画戦略部門」では、「組織」対「組織」の産学連携活動を推進するため、新規産業の創出に向けた事業の企画立案や社会と大学を結びつける企画の立案や連携協定の締結を進めています。2019年4月には「教育・経営支援部門」を新設して、起業意識・ビジネスマインドをもった学生・教職員の育成、アントレプレナーシップ教育の推進やセミナー等の啓発活動を行い、10月には起業に向けた支援を行うスタートアップ・スタジオ「U-tera(ユーテラ)」を開設しました。

産業院ではこの3つの部門が連携して活動することにより、新しい教育・研究の在り方として新規産業創出モデルを本学から発信するとともに、成果を迅速に事業化・産業化することにより、世界の問題を地域から解決することを目指します。





徳島大学、テクノオンーイスラエル工科大学(以下「テクノオン」)及び日亜化学工業株式会社は、従来の国際連携にはない長期的な視点に立ち、研究力強化、並びに世界レベルで活躍できる優秀な人材育成に向けて相互協力していくことで合意しています。

これらテクノオンとの国際共同研究、人材交流事業全体を俯瞰して推進し、支援することを目的に、2020年11月1日、「徳島大学テクノオン連携室」を設置しました。テクノオン連携室では、徳島国際サイエンス研究所(通称「TISI」)をはじめ、テクノオンとの学術交流を推進します。また、テクノオンの著名な研究者によるセミナーの開催を企画運営します。更に、優秀な研究者育成に資するため、若手研究者の人材交流事業や学生の交流などに取り組んでいます。

寄附講座



●部局名	●寄附講座等の名称	●設置年月日	●存続期間	●寄附企業等
大学院医歯薬学研究部	地域総合医療学分野	平成25年12月1日	3年×2期	公立学校共済組合、四国中央病院
	総合診療医学分野	平成26年 4月 1日	8年間	徳島県
	脊椎関節機能再建外科学分野	平成26年 7月 1日	7年間	泉工医科工業(株)、(株)エム・ディ・エム、(株)サージカル・スパイン
	地域医療人材育成分野	平成27年 2月 1日	7年2月間	愛媛県、公立学校共済四国中央病院
	地域消化器・総合内科学分野	平成29年 3月 1日	9年1月間	高松市
	地域循環器内科学分野	平成29年11月 1日	4年5月間	高松市
	地域運動器・スポーツ医学分野	平成29年11月 1日	5年間	JA徳島厚生連、吉野川医療センター
	地域リウマチ・総合内科学分野	平成31年 4月 1日	5年間	三好市
	地域呼吸器・総合内科学	平成31年 4月 1日	5年間	JA高知厚生連
	実践地域診療・医科学分野	令和 2年 4月 1日	5年間	JA徳島厚生連
先端酵素学研究所 病院	地域呼吸器・一般外科学分野	令和 2年 6月 1日	5年間	JA高知厚生連
	生体防御病態代謝研究分野	平成29年10月 1日	5年間	大正製薬(株)、応用酵素医学研究所(株)
	地域産婦人科診療部	平成26年 4月 1日	1年更新	徳島県
	ER・災害医療診療部	平成26年 4月 1日	1年更新	徳島県
	地域外科診療部	平成26年 4月 1日	1年更新	徳島県
	地域脳神経外科診療部	平成26年 4月 1日	1年更新	徳島県
	麻酔科診療部	平成29年 4月 1日	1年更新	徳島県
	地域小児科診療部	平成30年 4月 1日	1年更新	徳島県

社会貢献組織

人と地域共創センター



人と地域共創センターは、多様な人々の生涯にわたる学びに対応し、創造的社會に貢献する人材の輩出とそのコミュニティの共創を目的に、本学のリカレント教育と地方創生の拠点として、地域課題の解決と豊かな地域社會の創造に取り組みます。従来の地域創生センター、大学開放実践センター、研究支援・産官学連携センターの産業人材育成部門及びCOCプラス推進本部によって担われていた業務を統合し、2019年4月に設立されました。

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ccell/>



情報センター



全学的な情報化施策の実施や本学における教育、研究、社会貢献及び大学運営に係る情報関連業務の円滑な遂行のため、情報教育の支援、各部署等における情報化支援等を行いながら、ICT技術に関する研究開発を目的とするとともに、当センターのICT技術や情報セキュリティマネジメントシステムの経験を活かして、地域社會の人材育成の支援や情報セキュリティ活動に対する支援を行っています。

URL: <https://www.ait.tokushima-u.ac.jp/>



研究支援・産官学連携センター



研究支援・産官学連携センターは、2015年に設立され、活動を開始しました。当センターは、専門人材であるURAと産学連携コーディネーターが所属し、大学機能の強化に向けた取り組み、学内融合研究の促進、研究環境の整備を支援し、大学の研究成果を社會に還元する手段として、共同研究プロジェクトおよび産官学連携活動を積極的に推進しています。

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/>



四国産学官連携イノベーション共同推進機構



四国産学官連携イノベーション共同推進機構は、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学及び高知大学の四国5国立大学における産官学連携部門共通業務の統合・一元化を図り、大学の枠を超えて実施することで、各大学単体で実施するよりも質・量ともに充実させ、知の集積、人材の育成、国内外の大学と社會の接点及びイノベーション創出拠点を構築することを目的として活動しています。

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/project/sico/>



バイオイノベーション研究所



バイオイノベーション研究所 (BIRC: Bio-Innovation Research Center) は、徳島大学が地域や産業界と連携し、生物系新産業や6次産業化にかかるオープンイノベーションを推進する目的で設立されました。経済産業省から「地域オープンイノベーション拠点」に選定されており、大学と企業をつなぐネットワークのハブとなって、農林水産業や食、健康の未来を展望した革新的な研究活動や教育を実践し、大学発ベンチャー企業など新産業の創出や地域産業のイノベーションを支える人材の育成を進めます。

URL: <https://www.birc.tokushima-u.ac.jp/>



支援組織

放射線総合センター



放射線総合センターは、放射性同位元素等を使用して行う教育及び研究の用に供する施設であるとともに、本学における放射性同位元素等の放射線安全管理及びそのための研究・開発並びに情報収集を行っています。また、放射線業務に従事する教職員・学生に対して必要な教育訓練の実施や研究支援など放射線に関する総合的かつ中心的な役割を担い、教育及び研究の進展に寄与するとともに、公開講座等の開催により地域社會における放射線に関する知識の普及に協力することを目的としています。

URL: <https://www.arremc.tokushima-u.ac.jp>



高等教育研究センター



学生の入学前から就職に至るまで一貫した教育・学生支援を強化するため、全学的視点から入学者選抜、教育改革、ICT活用教育、創新教育、国際教育、学生生活及びキャリア形成に取り組むとともに、関係教職員を参加させ、運営を支援することにより、組織間の連携や教職協働による業務の充実・改善を図ることを目的としています。

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/>



AWAサポートセンター



男女共同参画推進事業を実施し、社會に率先して男女共同参画の実現を図り、多様性と発展性をもった教育・研究環境を醸成することを目的としています。男女共同参画社會のメリットを実感できる大学を目指し、地域・産官学との連携を視野に入れた活動を推進しています。

URL: <http://www.awasapo.tokushima-u.ac.jp/>



教職教育センター



教員養成課程の維持及び充実を図るとともに、学内外の教育関連機関等と連携・協同し、教員養成及び現職教員研修の質の向上を図ることを目的としています。

先端研究推進センター



大学院医歯薬学研究部総合研究支援センターで担ってきた機能を全学組織に移行することにより、高度なレベルで全学的視点から総合的に支援・推進するため、2019年4月に設置しました。「バイオイメーシング部門」では分子から動物個体までを対象とする最先端イメーシング研究支援活動を、「動物資源研究部門」では、全学の動物実験、実験動物の飼育管理、開発及び動物実験に関する教育、研究を支援しています。

バイオイメーシング部門
URL:<http://www.tbis2013.net/>



動物資源研究部門
URL:<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/DAV/organization/10998/>



デザイン型AI教育研究センター



デザイン型AI教育研究センターは、AI教育推進部門、AI研究開発部門、AI社会実装部門からなり、急速に進むデジタル社会に対応するため、AI技術・データサイエンスを活用し、社会課題の解決にあたるデザイン思考と専門知識を持った人材を育成すること及びIT企業等と連携し、国際社会の動向と地域企業等のニーズを踏まえ、高度なAI関連研究を展開することを通して、地域の経済発展に寄与することを目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/ai/>



埋蔵文化財調査室



施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する(1)実施計画の立案及び実施、(2)出土した埋蔵文化財の整理、保管及び保存、(3)報告書の作成、(4)その他埋蔵文化財の発掘調査に関し必要な事項を行います。

URL:<http://tokudaimaibun.jp/>



附属図書館



附属図書館は、本館(常三島地区)、蔵本分館(蔵本地区)の2館で構成されており、大学の中核的な学術情報基盤として徳島大学の教育・研究活動を支えるとともに、教育・学修を支援する副館長と図書館職員の配置、多様な学習形態に対応した施設・設備により充実した学修環境を提供しています。また、所蔵資料の展示や公開等を通じて地域の文化振興にも寄与しています。

URL:<https://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>



キャンパスライフ健康支援センター



学生及び職員の健康の保持増進及び良好な学修・就労環境を確保するため下記の部門があります。

(1)保健管理部門(保健管理センター) 学生及び教職員の心身の健康の保持増進をはかる施設です。各種健康診断をはじめとする健康管理、健康指導や診療を行っています。

(2)総合相談部門(総合相談室) 学生及び教職員の様々な悩みの相談窓口です。学生相談や職員相談に応じて、それぞれに専門的な立場から支援しています。

(3)アクセシビリティ支援部門(アクセシビリティ支援室) 障がい学生が学修や研究を行っていく上で、必要な配慮を相談・立案し、関連部局等とも連携して快適な学生生活を送れるよう支援を行っています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/hsccl/>



障がい者就労支援センター



学内の各組織及び地域の特別支援学校等と連携して、障がい者の就労を支援し、障がい者雇用の推進に寄与するとともに、障がい者の生涯発達を支える環境づくりとその充実を図り、障がい者の社会的及び職業的自立を支援することを目的としています。建物内・構内の清掃や各部局の業務支援、学内便の集配、特別支援学校生の職場体験実習の受け入れ等を行っています。

協定大学等分布

2021年5月1日現在

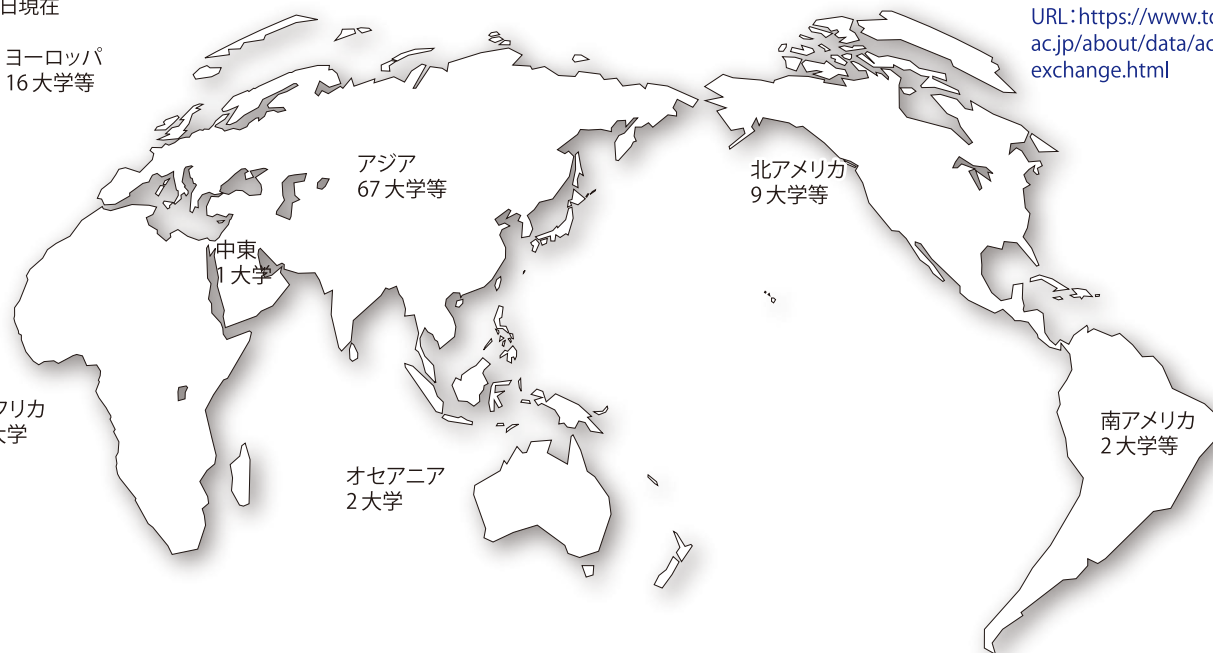
※総数 30カ国・地域 98大学等

URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/about/data/academic_exchange.html



ヨーロッパ
16大学等

アフリカ
1大学



外国人留学生数

2021年5月1日現在

区分/国・地域	学部学生			大学院生			研究生等			合計			
	計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費	
アジア	インドネシア	1	1	0	13	8	11				14	9	11
	インド				4	2	1				4	2	1
	台湾				6	1	0	1	0	0	7	1	0
	韓国	17	6	0				1	0	0	18	6	0
	中国	4	0	0	69	30	0	7	4	0	80	34	0
	バングラデシュ				6	1	4				6	1	4
	ネパール				1	0	1				1	0	1
	フィリピン				3	0	1				3	0	1
	ベトナム	6	1	0	6	3	2				12	4	2
	マレーシア	2	0	1	3	1	0				5	1	1
モンゴル				18	13	3				18	13	3	
タイ王国				2	1	2				2	1	2	
北米	アメリカ合衆国			1	0	0				1	0	0	
欧州	スウェーデン						3	0	0	3	0	0	
	クロアチア						1	0	0	1	0	0	
アフリカ	エジプト			4	1	0				4	1	0	
	ルワンダ			1	0	0				1	0	0	
合計17ヶ国・地域		30	8	1	137	61	25	13	4	0	180	73	26

学年暦

前期 (4月1日～9月30日)

4月1日 前期開始
 4月1日～4月5日 春季休業
 4月1日～4月8日 新入生オリエンテーション
 4月6日 入学式
 4月9日 前期授業開始
 8月1日～8月31日 夏季休業
 9月30日 前期終了

後期 (10月1日～3月31日)

10月1日 後期開始
 10月1日 後期授業開始
 11月2日 開学記念日
 12月25日～1月7日 冬季休業
 3月23日 卒業式・大学院修了式
 3月25日～3月31日 学年末休業
 3月31日 後期終了

位置図・交通

交通

飛行機

- 東京(羽田)～徳島 [約1時間10分]
- 福岡～徳島 [約1時間30分]

鉄道

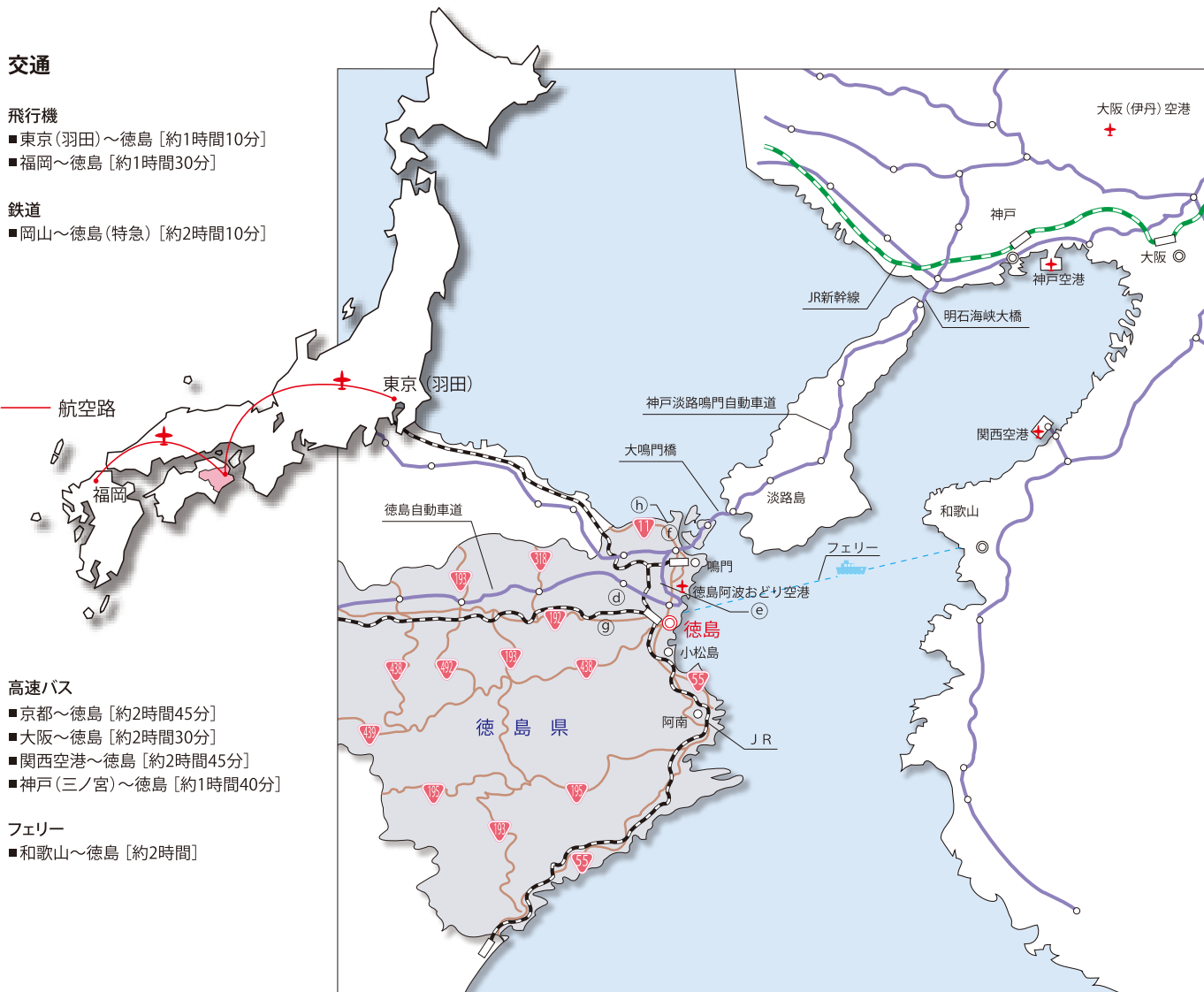
- 岡山～徳島(特急) [約2時間10分]

高速バス

- 京都～徳島 [約2時間45分]
- 大阪～徳島 [約2時間30分]
- 関西空港～徳島 [約2時間45分]
- 神戸(三ノ宮)～徳島 [約1時間40分]

フェリー

- 和歌山～徳島 [約2時間]



JR徳島駅からの距離 交通手段・所要時間

新蔵地区(約1km)

- 徒歩の場合 [15分]
 - バス利用の場合 [6分]
- 徳島駅より徳島バス「富岡・橋」行、徳島市営バス「津田」行または、小松島市営バス各方面行に乗り、「新蔵町」下車徒歩1分
- タクシーの場合[約5分]

常三島地区(約2km)

- 徒歩の場合 [30分]
 - バス利用の場合 [10分]
- 徳島駅より徳島市営バス「島田石橋」行、「商業高校」行に乗り、「助任橋」または「徳島大学南」下車徒歩5分
- タクシーの場合[約7分]

蔵本地区(約4km)

- JR利用の場合 [12分]
- (JR徳島線蔵本駅下車徒歩5分)
- バス利用の場合 [15分]
- 徳島駅より徳島市営バス「上鮎喰」行、「天の原西(延命)」行、「中央循環線(右回り)」行、「地藏院」行、「名東」行のいずれかに乗り、「県立中央病院・徳島大学病院前」、「総合メディカルゾーン」のいずれか下車徒歩1分
- タクシーの場合[約10分]



地図中のa～eは、「その他の地区」(17ページ)の各施設の位置を示す。

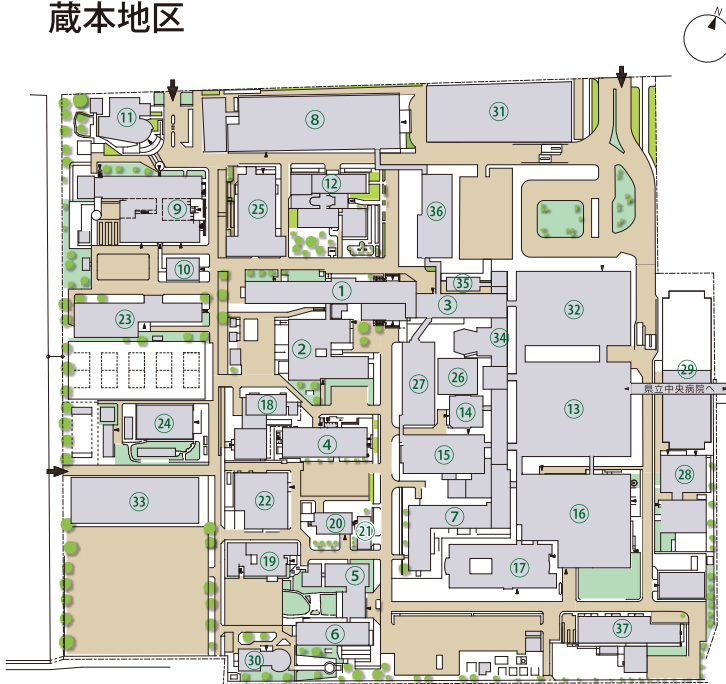
建物配置図

常三島地区



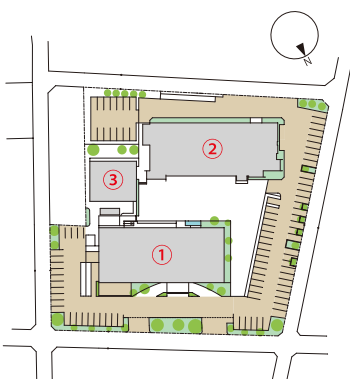
- ① 総合科学部1号館
- ② 総合科学部2号館(西棟)
- ③ 地域連携プラザ
- ④ 総合科学部2号館(東棟)
- ⑤ 総合科学部3号館
- ⑥ 教養教育4号館
- ⑦ 教養教育5号館・
キャンパスライフ健康支援
センター
- ⑧ 教養教育6号館・
人と地域共創センター
- ⑨ 学生会館
- ⑩ 地域創生・国際交流会館・
人と地域共創センター
- ⑪ 第1食堂
- ⑫ 体育館
- ⑬ 音楽練習棟
- ⑭ 附属図書館
- ⑮ 建設棟・環境防災研究センター
- ⑯ 建設系実験室
- ⑰ 電気電子棟
- ⑱ 共通講義棟
- ⑲ イノベーションプラザ
- ⑳ 機械棟
- ㉑ 化学・生物棟
- ㉒ 総合研究実験棟
- ㉓ 光応用棟
- ㉔ 情報センター・院生棟
- ㉕ 知能情報・南棟
- ㉖ 知能情報・北棟
- ㉗ 機械実習棟
- ㉘ 工業会館
- ㉙ カフェテリア
- ㉚ 第2食堂
- ㉛ ポストLEDフォトニクス研究所
- ㉜ 地域共同インキュベーション
研究室棟・研究支援・産官学連携
センター・産業院・人と地域共創
センター(産学官連携プラザ)
- ㉝ ベンチャービジネス育成研究室
(産学官連携プラザ)
- ㉞ カフェ棟
- ㉟ 課外活動棟

蔵本地区



- ① 医学基礎A棟
- ② 医学基礎B棟
- ③ 医学臨床A棟
- ④ 栄養学棟
- ⑤ 保健学A棟
- ⑥ 保健学B棟
- ⑦ 保健学C棟
- ⑧ 歯学部校舎
- ⑨ 薬学部実験研究棟
- ⑩ 医薬創製教育研究センター
- ⑪ 長井記念ホール
- ⑫ 附属図書館(蔵本分館)
- ⑬ 中央診療棟
- ⑭ 臨床講義棟
- ⑮ 医学臨床B棟
- ⑯ 東病棟
- ⑰ 西病棟
- ⑱ 放射線総合センター
- ⑲ 先端酵素学研究所B棟
- ⑳ 先端酵素学研究所A棟
- ㉑ 先端酵素学研究所A棟実験棟
- ㉒ 先端研究推進センター
動物実験施設
- ㉓ 蔵本会館
- ㉔ 体育館
- ㉕ 大塚講堂
- ㉖ 総合研究棟
- ㉗ 藤井節郎記念医科学センター
- ㉘ 維持管理センター
- ㉙ 立体駐車場
(北側は平面駐車場)
- ㉚ 青藍会館
- ㉛ 立体駐車場
- ㉜ 外来診療棟
- ㉝ 立体駐車場
- ㉞ 西外来診療棟
- ㉟ トリアージ棟(仮称)(工事中)
- ㊱ 医歯薬学共同利用棟
- ㊲ 宿舍棟

新蔵地区



- ① 徳島大学本部
- ② 日垂会館
- ③ しんくら会館

その他の地区

- ㊲ 総合運動場
 - ㊳ 友朋寮
 - ㊴ 晨鐘寮・藍香寮
 - ㊵ 薬学部薬用植物園
 - ㊶ 国際交流会館、ボート艇庫
 - ㊷ 生物資源産業学部水圏教育研究センター
 - ㊸ 生物資源産業学部農場・バイオイノベーション研究所
 - ㊹ ヨット艇庫
- (16ページの地図参照)



学章

学章は、UNIVERSITYとTOKUSHIMAの頭文字であるUとTを基調としてデザインされています。

背面に配置された四角形は、徳島大学の位置する四国を示しています。Uの重なりは、大学の学術と教育の成果が地域や国際社会の発展に貢献し、知と文化がこだまのように継承されていく姿を象徴しています。全体の色調は、四国を発して世界に羽ばたく人材を生み出す悠久の流れを象徴する吉野川と、若人の夢を象徴する徳島の青い空、青い海、さらには徳島の誇る特産物である藍の色などをイメージしています。


(2001年制定)




コミュニケーションマーク

徳島大学が60年間で培ってきた「進取の気風」をベースに、人が躍動し、個性的で未来に立ち向かう教育研究の場をイメージしました。また、5つの色は、それぞれ下記のような意味を込めています。

 =優れた専門性、人間性に富む人格形成の場

 =真理を探究し、自由な発想による研究

 =地域社会と世界を結ぶ知的ネットワークの拠点

 =徳島県の豊かな自然、眉山や城山など、

都市の中の緑

 =吉野川をはじめ、潤いと恵みをもたらす水環境

使用した書体は、ローマ字の起源であるローマ時代、トラヤヌス帝の碑文を源にするTrajanであり、学問の歴史と大学の伝統、格調の高さを示しています。

左に位置するイラストレーションは、躍動感をイメージし、殻を破るような勢いと水のような流動性を表現しています。

(2010年制定)



徳島大学マスコットキャラクター

「とくぼん」

クラウドソーシングにより募集し、徳島大学学生及び職員の最終選考を経て誕生した、徳島大学マスコットキャラクターです。



徳島大学は、学校教育法第109条第2項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。(2020年3月24日)

認証評価機関:

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

認証期間:7年間

徳島大学概要2021

編集 / 徳島大学総務部総務課

770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地

Phone:088-656-7021

Fax:088-656-7012

<https://www.tokushima-u.ac.jp/>

2021年8月発行